

令和9年度 総合型選抜入試（学科課題型）事前課題

この「事前課題」は予定のものになります。

出願の際には入学試験要項で内容を再度必ずご確認ください。

経営学部 経営学科

あなたがある企業の新入社員で、上司から新規事業のアイデア出しを要請されたと仮定し、自分で新たな事業の案を考え、簡潔に説明しなさい（1000～1200字）。

なお、その事業範囲は、大学受験関連産業（予備校、塾、オンデマンド／オンラインなどの通信教育、教材開発、学習管理システム、ソフトウェア開発、情報提供、（障がいのある方などへの）支援サービスほか）とする。かならず自身の経験にもとづいて、大学受験者／受験産業が抱える課題を特定し、その課題を解決するための事業案としなさい。

会社の組織形態、経営環境などについては各自で自由に想定してよいが、資料を参照した場合は出所情報を最後に明記すること（著者名、資料／ウェブサイト名、出版社名／URL、出版年など。出所情報は文字数に含まない）。

経営学部 データ サイエンス学科

次の課題 A、課題 B のうち、どちらかを選択し、記述しなさい。課題 B は、GitHub で自作プログラムを公開している場合に選択できます。

【課題 A】

あなたに関心をもっていることや、日常的に関心を向けている分野（例：ビジネス、エンタメ、社会課題など）について、データを活用することで、どのように課題の解決や利便性の向上が図れると考えますか。また、そのような場面において、データを扱う力（データサイエンス）を身につけることには、どのような意味や価値があると考えますか。あなたの考えを記述しなさい。

【課題 B】

GitHub で公開している自作プログラムの紹介を記述しなさい。プログラムの規模、難易度は任意とします。高校の課題型学習などで作成したものでも構いません。1 行目に GitHub のアカウント名とリポジトリ名を明記し、2 行目以降、何をするプログラムか、評価してほしい点（アピールポイント）、作成時の AI 使用の有無（AI を使用した場合は、使用した部分とどのように指示したか）を記述しなさい。

<注意事項>

- ・上記プログラムは、出願時から合格発表まで公開状態を保つこと。
- ・GitHub では本学入試に応募しているものであることを表示する必要はありません。
- ・GitHub に障害が生じた場合も締切の延長は行いません。余裕をもって公開すること。
- ・課題 B に関する問い合わせは ds_nyushi@asia-u.ac.jp へメールにてご連絡ください。

【課題 A, 課題 B 共通】

以下の書式に従って記述すること

- ・横書きで文字数は 1,000~1,200 文字とする
- ・文章は「です・ます」調ではなく、「である」調で書くこと
- ・文献から引用する場合や、参考とした資料がある場合、その資料の著者名、資料名あるいは Web ページ名、出版社名あるいは URL、出版年の情報を回答の最後に記述すること。ただし、この情報は文字数に含まない。
- ・ワープロソフトで作成し、A4 版に印刷したものを提出してもよい。

※ワープロソフトで作成する場合には「総合型選抜入試（学科課題型）事前課題 ワープロソフトを用いる場合の作成要領」に従うこと。

**経済学部
経済学科**

現在の日本の経済的な課題を 1 つ挙げ、それに関連した自分自身の体験と得られた学びについて具体的かつ詳細に、1,000~1,200 字で述べてください。

データや参考文献を資料として引用する場合は、答案の末尾に必ずその出典（資料の著者名、資料の名前、出版社名、出版年、URL など）も明記してください。

なお、参考文献の記載部分は文字数には含まれません。

**法学部
法律学科**

あなたが関心をもつ法的な問題について、次の手順で小論文を書いてください（字数は 1,200 字~1,500 字。ただし、参考文献一覧や図表を付ける場合には、それらは文字数に含まれない）。

- (1) なぜそれが問題だと考えるのかについて説明する。
- (2) その問題の原因について、具体的に分析する。
- (3) その問題に関してどのような解決策をとるべきかについて、具体的な根拠を挙げながら自分の意見を述べる。

**国際関係学部
国際関係学科**

国際関係学科のカリキュラム内容を確認した上で、あなたが関心を持つ現在もしくは過去の国際問題や国際社会の課題を一つ挙げ、次の（１）（２）の手順で、1,200字以上の小論文を書いてください。

- （１）その問題や課題について、原因・経緯・現状などを説明する。
- （２）それがどのように問題や課題であるかについて、あなた自身の体験や学びから得た自分なりの見解を含めつつ、分析する。

*なお、参考にした資料がある場合、「著者名」、「資料／ウェブサイト名」、「出版社名／URL」、「出版年」を、上記の順序で文章の後ろに記載すること。ただし、この参考資料情報は本文文字数には含めない。

**国際関係学部
多文化コミュニケーション学科**

多文化コミュニケーション学科のカリキュラム内容を確認したうえで、以下の問題からどちらか一つを選び、解答しなさい(1,000 ～ 1,200字)。

- （１）あなたの志望理由をもとに、大学で学びたい具体的なテーマについて独自に調べてまとめ、自分の見解について説明しなさい。
(参考とした資料がある場合、「著者名」、「資料/ウェブサイト名」、「出版社名/URL」、「出版年」などを最後に記載すること。参考資料の情報は文字数には含めない。)
- （２）現在の日本社会における多文化共生の理想と現実について説明した上で、日本において多文化共生社会を実現していくためには何が必要なのか、自分はそれにどのように貢献できるかについて述べなさい。
(参考とした資料がある場合、「著者名」、「資料/ウェブサイト名」、「出版社名/URL」、「出版年」などを最後に記載すること。参考資料の情報は文字数には含めない。)

**社会学部
現代社会学科**

岩波ジュニア新書の『新・大学でなにを学ぶか』（上田紀行編著 2020年）を熟読して、その内容を踏まえた上で、以下の問いに答えてください。なお、(1)(2)(3)の合計は1000文字から1200文字の間であること。

(1) 中島岳志さんの章「教養はどのような時に役立つのか」では、「1匹」と「99匹」の例えを挙げて説明をしています。

あなた自身が文章中で言う「1匹」の側にあると感じた経験（場面・特徴・状況）を具体的に説明してください。（なぜそれが「1匹」と「99匹」の関係に当てはまるのか、中島さんの文章中からの引用とあなたの経験を組み合わせて、読み手に説得的な文章を心がけること）

(2) 上記（1）に関係して、その時にあなたの生きる支えになるもの・なったものについて、またそれがなぜかを、予備知識のない読み手にも分かりやすく説明してください。

(3) 中島さんの文章には、「1匹」を救うこと・救う方法と「99匹」を救うこと・救う方法の区別の必要性についても書かれています。それについて、(1) (2)の経験にもとづいてあなた自身の考えを述べなさい。

**健康スポーツ
科学部
健康スポーツ
科学科**

近年、デジタル技術の進化と普及は目覚ましく、私たちの生活や社会に大きな影響を与えている。あなたが健康またはスポーツに関して疑問や興味関心を持ち、自分で調べたり観察したりした経験を一つ挙げなさい。その経験の中で、どのようなものが重要であると考えたかについて説明しなさい。

さらに、その経験を通して、健康またはスポーツ分野の発展のために、今後どのような技術や支援が必要であると考えるか、あなたの考えを述べなさい（1000 字～1200字）。

※ 参考にした資料がある場合、その著者名、資料またはウェブサイト名、出版社名または URL、出版年などの情報を、解答の最後に記載すること。なお、参考資料情報は、文字数に含まない。

※実際の事前課題は『入学試験要項』の『入学試験出願書類』で必ず確認してください。また、出願の際には本学所定の記入用紙を使い自筆で作成してください。データサイエンス学科はワープロソフトを使用して作成したものも提出が可能です（詳しい書式については『入学試験出願書類』を確認のこと）。他の出願書類（調査書等）と合わせて提出してください。

※入学試験要項は8月以降に「あじばこ（マイページ）」、公式 HP で公開予定です。